

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
3 1 9	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Medical comorbidity in patients with schizophrenia and alcohol dependence. 統合失調症とアルコール依存症とを有する患者の併存症	
執筆者	
Batki SL, Meszaros ZS, Strutynski K, Dimmock JA, Leontieva L, Ploutz-Snyder R, Canfield K, Drayer RA.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Schizophr Res. 2009 Feb;107(2-3):139-46. Epub 2008 Nov 20.	
キーワード	
統合失調症、アルコール、医学的疾患、薬物乱用、併存症	
要 旨	
<p>目的・背景： 統合失調症とアルコール依存症とは様々な疾病の主要な危険因子であるが、この両者を併せ持つ患者の医学的な併存症に関する研究はほとんどなされていない。</p> <p>方法： ナルトレキソン (naltrexone) による監視治療対照試験の参加者で統合失調症あるいは統合失調感情障害およびアルコール使用障害の両者を有する 80 名の患者における併存症の罹患率とその重症度を評価し、またそれらの併存症と人口統計学的変数、アルコールその他の薬物使用および精神疾患との関連を解析した。対象患者は身体診察、臨床検査、カルテの閲覧、医学的併存症の負担、アルコールその他の薬物使用および精神疾患に関して標準化された評価を受けた。人口統計学的変数、アルコールその他の薬物使用、精神疾患の重症度がおよぼす疾病負担への寄与を評価する目的で nested block 多重回帰分析を用いた。</p> <p>結果： 83%の対象患者が少なくともひとつの慢性疾患を有していた。中でも高血圧が最も頻度が高かった (43%)。本コホートにおける医学的併存症は CATIE 試験における統合失調症の患者よりも重篤であった (Chwastiak, L, Rosenheck, R, McEvoy, J.P., Keefe, R.S., Swartz, M.S., Lieberman, J.A., 2006. Interrelationships of Psychiatric Symptom Severity, Medical Comorbidity, and Functioning in Schizophrenia. Psychiatr. Serv., 57(8), 1102-1109.)。高血圧、慢性閉塞性肺疾患、冠動脈疾患の罹患率は 2 倍以上であった。併存症による負担はアルコール使用の重篤度と関連していた、しかしそれ以外の薬物乱用や精神疾患との重症度とは関連していないようであった。</p> <p>結論： 統合失調症あるいは統合失調感情障害のみを有する患者に比べアルコール使用障害を併せ持つものは医学的併存症の負担が有意に大きいと思われる。これらの負担を軽減するためにはアルコール使用を減らすための介入が必要であると考えられる。</p>	